

新基地建設反対名護共同センターニュース

城間みきこ那覇市長 再選へ出馬表明



写真左は城間氏を中心に沖縄方式で「頑張ろう！」と氣勢を上げる支持者のみなさん。
写真下は、最前列の城間氏（左）と城間氏の決意表明に拍手を送る翁長知事ら。（写真=しんぶん「赤旗」提供）



翁長県政支え新基地阻止、協同の街づくりを

城間幹子市長（67）は24日、那覇市内で記者会見を開き2期目出馬を正式に表明しました。
会見には翁長雄志知事はじめ「オール沖縄」の糸数慶子参院議員・多数の地方議員、経済界からかりゆしグループや金秀グループの代表も出席しました。

子育て支援、中小企業振興策など重視

城間氏は「1期目の公約の着手率は96%」と強調、「協同によるまちづくり」を土台に、子育て支援や中小企業振興策による所得向上、貧困問題の改善を重要政策としてあげました。辺野古新基地問題は「沖縄にこれ以上、新しい基地はいらない」と改めて翁長県政を支えると表明しました。翁長知事は「城間さんに継続して、将来の子や孫のために、県と那覇市の市長として全力で頑張っていたきたい」と激励しました。

知事選の前哨戦 一騎打ちの大激戦に

同市長選は10月21日投票。自民党県議の翁長正俊氏（67）と事実上の一騎打ちの大激戦となる公算。知事選の前哨戦として重大なたたかいとなります。

県民投票署名 必要数はるかに上回る 呉屋顧問がその意義を語る



辺野古新基地建設の賛否を問う県民投票をめざす「県民投票の会」の賛同署名が活動締切りの23日を前に必要数をはるかに上回る6万筆余に達し、会は30日に最終数を発表します。24日の琉球新報は同会顧問の呉屋守将金秀グループ会長のインタビューを掲載しました。以下は要旨です。

沖縄の未来へ 分断に終止符を

首長選挙に負け続けてきた。選挙の争点にすることから逃げ続けてきた陣営が、辺野古について暗黙の了解をえたとやわらびかりのことを、官邸を中心に喧伝する。本当にそうだと思うなら推進派も逃げずに議論を活性化することが大事だ。県民が大概と覚悟を持ち子や孫の時代にどういふ実績を残すのか示してもらいたい。今を生きるうちならんちゅとして責務がある。県民が分断された状況に終止符を打ちたい。



8・4 辺野古海上大行動

- 防衛局が8月17日以降に土砂投入を強行しようとしているもとの、海上からの大抗議活動を展開します。
- 8月4日（土）カヌーは朝7時・辺野古テント2集合 13時半から辺野古浜で連帯集会あります。
 - 抗議船⇒乗船希望の方は午前か午後の希望申し込みを。 集合・午前は8時半、午後は14時15分浜のテントへ
 - カヌー⇒①海上抗議行動の経験がある人に限ります。 ②事前のカヌー教室（要予約、集合はテント2） 集合・日曜朝9時～ 平日朝7時半（臨時教室）
 - 連帯集会⇒13:30～辺野古の浜での連帯集会には誰でも参加できます。座り込みの人もぜひご参加ください。
 - ◆カヌーおよび抗議船での参加は事前申し込みが必要です。 予約はmailで→ henokobue@outlook.jp



「承認撤回と沖縄の自治」

徳田教授招き学習会 やんばる統一連
やんばる統一連（仲本興真代表）は25日、琉球大学徳田博人教授を招き「辺野古埋立承認撤回と沖縄の自治」と題して名護民商で学習会を開催。21人が参加しました。徳田教授は「防衛局が前知事の埋め立て承認の際の留意事項に違反して工事を進めていることは明らかで、翁長知事が撤回することは根拠があることなどを解説しました。参加者から「とてもわかりやすかった」との感想が出されました。同統一連は今後、毎月学習会を行う計画を立てています。

